



中秋の名月と言われる十五夜は、9月17日です。おコメの豊作を祈願する行事とされていますが、今年は満月の1日前になります。旧暦の8月15日なので満月ではないことがよくあります。もう1つの月見と言われる十三夜は、今年は10月15日です。満月になる前の少し欠けた美しい月とも言われ、収穫に感謝する月見で、両方見るといいことがあるという言い伝えがあります。今年は、2つの月が見れるでしょうか？さらにすべての農作業が終わった後に、来年の豊作を祈る十日夜というのがあり、3つの月見があるそうです。

運のいい人

「科学がつきとめた『運のいい人』（著 中野信子）」という本を読みました。運のいい人の特徴や立ち居振る舞いなどいろいろなことが書いてありましたが、一番印象に残っているのは、「運のいい人は、自分を大切にしている」という言葉です。自分を大切にすると人は、周りの人からも大切にされる。本当は運も不運もみんな同じ数なのに、よい人間関係ができているので、よいことが起こりやすくなり、不運が近づかないようにしているというものです。

自分を大切にすることは、自分を好きでいること、自分の心に素直でいること、自分の体を大切にすること等でしょうか。周りの人を大切にすることが自分を大切にすることにつながるのかもかもしれませんね。

手品師

6年生の道徳に「手品師」という教材があります。【正直・誠実】をテーマにしたお話です。ひとりぼっちで寂しく過ごしている少年、出演する機会もなくその日を暮らすのもやっとの手品師。ある時、手品師はその少年に出会い、得意の手品を披露したところ少年は大喜び、明日も来ることを約束しました。ところがその夜、夢に見た大舞台への出演依頼の電話がかかります。それも明日。約束を守るべきか、念願の舞台への出演を選ぶべきか！両方かなえるという選択肢なしで考えます。大人でも葛藤すると思いますが、この葛藤が心を育てるのだと考えます。

約束を守ることが誠実なのか、自分の夢に向かうのが誠実なのか、どちらに向かうのが自分の心に正直なのか、、、。



不審者対応訓練

9月8日に、全校で不審者対応訓練を行いました。災害もいつ起こるかわからず怖いですが、不審者も同様にいつ侵入してくるかわからない怖い存在です。学校で不審な人を見つけた時にはどうすればいいのか。外で不審な人がいたらどうしたらいいのか知っておくことはとても大切です。まずは、学校は不審者が入らない環境づくり、家に帰ったら不審者と出会わない行動からですね。9月18日には、警察署の方を招いて、職員対象の研修を行います。不審者1人が全力で立ち向かって来たり、逃げたりするのにこちらが1人に対応するのは危険です。組織的に立ち向かわなければなりません。子供たちのために、さすまたの使い方や初期対応、組織的な対応をみんなで学びます。放課後の遊び方の指導を家庭でお願いします。